

## 「技術立社」を目指して



堀 重明 (ほり しげあき)  
富士電機機器制御株式会社  
取締役社長

2005年の新春を迎え、謹んで新年のお慶びを申し上げます。

いっそうの成長と発展を目指す「最強の専門メーカー」として新たに発足した富士電機機器制御株式会社は、お陰様で2004年10月1日をもって1周年を迎えることができました。

当社は、高度化する工場のFAラインやインテリジェントビルなどの最先端設備の運転や安全な生活環境を支える受配電機器、開閉制御機器、駆動制御機器、ガス関連機器などのコンポーネントとこれらを組み合わせた中小システム製品を提供しています。この事業分野において当社は、高い自動化制御技術と駆動制御技術を通じて、世界最高レベルの製品、ソリューション、サービスを創り出しているという意思を込めて、当社の存在理由、すなわちミッションを「FA Component & System Technology for the Best」としています。つまり当社の存立理念を「技術立社」とすることを明確に示しています。

当社を取り巻く2004年の市場環境は、公共投資の減少などの悪化要因があるものの、民間設備投資の増加、中国・アジア地域経済活動の活発化および海外電力設備機器需要の増加により好調に推移いたしました。この好環境を的確にとらえ、次の四つの取組みを通して、「技術」を基礎としたお客様への最大の価値の提供とお客様との信頼の獲得によって、業績を拡大してまいりました。

- 1) 世界最高レベルの性能、ネットワーク化への対応、環境への適応、高い信頼性など多様化するニーズに対して最高の技術レベルの製品を開発する。
- 2) トップレベルの商品を提供し、最適なシステムを提案

するとともに、製品カスタマイズからリニューアルまで設備ライフサイクルにわたる技術サポートネットワークを提供する。

- 3) 生産、サービス拠点強化と連携し、グローバル化に対応して世界各地の規格に適合する製品ラインアップを強化し、次世代のグローバル新製品の開発を推進する。
- 4) トータルコストダウンを徹底し、品質クレームを防止するため、QCM (Quality Chain Management) による製品の品質確保のための継続したプロセス改善活動を徹底する。

2004年は、これらの活動を通して、グローバル市場に対応するワールドワイド製品開発、ネットワーク対応などのシステム商品化、シリーズ拡大による製品強化、など多くの成果を市場に送り出すことができました。

器具分野では、グローバル製品として250AF配線用遮断器、船用スイッチギヤ規格対応の真空遮断器、マニュアルモータスタータの圧着端子対応形をはじめ、角形表示灯、電力監視機能付きブレーカ、各種AS-i機器、複合形都市ガス警報器などを開発しました。

またシステム機器分野では、エレベータ専用インバータをはじめ、グローバル市場対応のEMCフィルタ、DCリアクトル内蔵インバータ、パソコンベースのサーボシステム、インバータの大容量化、AS-i対応インバータ、現場指向形のPLCローダなどを開発しました。

これらの製品を通して、私たちはこれまで培ってきた技術力をさらにレベルアップし、これまで以上にお客様へのご満足を提供し、社会に貢献していく所存です。今後ともご支援・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。